

ガク チキ
学校と地域をつなぐ教育広報誌

がくち



第19号

令和7年9月発行

地域の
人與人
地域と
学校を
つなぐ

— 子どもの学びと成長を地域で支える —



特集

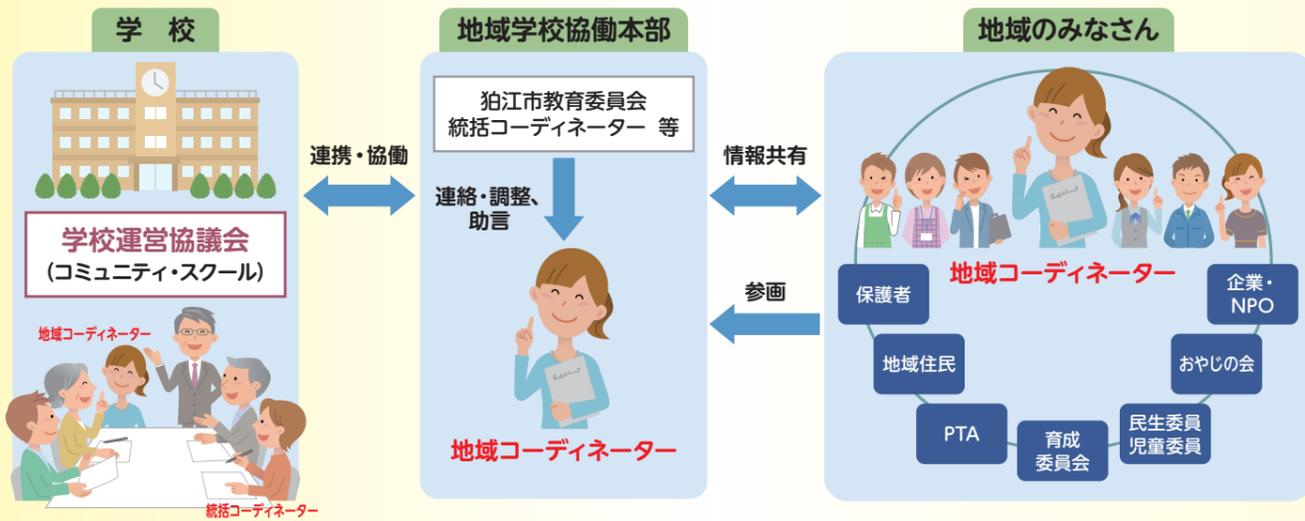
地域と学校と子どもたちの橋渡し ～地域コーディネーター～

広がれ地域学校協働活動

—地域ぐるみで支える
子どもたちの学びと成長—

子どもたちと学校を支える地域のみなさんの姿市内の各学校で、幾度となくその姿を目にしてきました。これまでの支援をいただく関係性から一歩進みたい。これからは、地域と学校がパートナーとして連携・協働するかたちへ。子どもの学びと成長を支えることを通じて、学校を拠点とした緩やかなコミュニティを築く。それが地域の活性化にもつながるはず。狛江の地域学校協働活動、ここからさらに広がっていきます。

狛江市の地域学校協働活動



地域学校協働活動が描く子ども・学校・地域の未来

地域には人も物も資源が豊富。地域のみなさんとの交流や本物に触れる経験によって、学校では得がたい学びを子どもたちは得られます。

地域学校協働活動では、地域のみなさんに参画していただき、学校支援活動、外部人材による教育活動、放課後や休日の学習・体験活動など、地域ぐるみの活動で未来を担う子どもたちの学びや成長を支えています。

そして、目指すところは「学校を核とした地域づくり」。地域のみなさんが学校を拠点に様々な活動を進める

ことで、学校が世代を超えた多くの人が集うコミュニティの中心となる。子どもを支える活動を担うことで、地域のみなさんに連帯感が生まれ、ここに新しいつながりが生まれる。

子どもの成長は、関わる全ての人の喜びややりがいにつながり、地域に活力が生まれる。また、子どもたちには、地域への愛着が芽生え、いつか地域のためといった意識が育まれる。

こんな地域と学校の未来を描いているのも、地域学校協働活動の特徴です。

オール狛江でのぞむ

国が推奨する地域学校協働活動では、地域と学校の連絡調整を図り、様々な活動を企画、立案、実施し、その活動に継続性をもたせるため、地域学校協働本部を整備することが効果的とされています。協働本部を各学校に設置し、そこを拠点にして地域ごとに活動を展開していく。こうした形を想定していますが、狛江では、コンパクトシティの利点をいかし、協働本部を一元化しています。地域と学校の情報を集約・共有し、活用できる地域資源をみんなでシェアする。オール狛江の体制でのぞんでいます。

地域と学校をつなぐ地域コーディネーター

地域学校協働活動で重要なのは、なんといっても「人」。地域のみなさんの参画があって、この活動は実りのあるものになります。

そして、地域のみなさんに呼びかけ、地域の人と人、地域と学校をつなぎ、活動をコーディネートするのが地域コーディネーター（地域学校協働活動推進員）です。

その役割は、活動の企画・立案や地域と学校の連絡調整など多岐にわたりますが、地域と学校が抱えるそれぞれの事情や要望を理解し、情報を共有できるよう

橋渡しとしての役割が求められます。

狛江では、各小中学校に地域コーディネーターが配置され、さらに地域コーディネーターをまとめる統括コーディネーターが配置されています。

統括コーディネーターは、各地域コーディネーターの得手を活かして活動を調整し、市域全体の地域資源を把握して各地域がシェアできるようにするなど、広域的に目を配ることで、各地域の活動の成果を市域全体に還元する役割などを担っています。

地域コーディネーター、学校の懐に飛び込む

学校に設置される学校運営協議会。学校の運営について学校と保護者や地域住民の代表らが協議します。地域コーディネーターは、そのメンバーの一人として参加。学校が掲げるビジョンや、学校に必要な支援について、地域側の受け皿となり、その情報を地域のみなさんに提供して共有を図り、そして協働活動として実行に移す。地域コーディネーターの重要な役割になります。

統括コーディネーター・地域コーディネーターのみなさん

統括コーディネーター
よしだ かずお
吉田 和夫さん

統括コーディネーター
すみとも かずこ
住友 和子さん

狛江第四中学校
うめもと ろりえ
梅本 ろり絵さん

緑野小学校
しのみや ゆうこ
篠宮 悠子さん

和泉小学校
やまぐち あずさ
山口 あずささん

狛江第一小学校
ますかわ くにひろ
増川 邦弘さん

狛江第三中学校
もり ゆうき
森 勇貴さん

狛江第五小学校
たかだ ゆきこ
高田 由紀子さん

狛江第五小学校
かの ともこ
鹿野 朋子さん

狛江第一中学校
あいこう えつこ
愛甲 悦子さん

狛江第三小学校
すずき ともよし
鈴木 智善さん

狛江第六小学校
あきもと じいち
秋元 慈一さん

狛江第二中学校
まえだ まさひと
前田 正人さん



広い世界を見せたい、
色々な選択肢を見せたいと思って、
地域コーディネーターをやっています。

緑野小学校 地域コーディネーター
しのみや ゆうこ
篠宮 悠子さん

地域コーディネーターになったきっかけ

令和5・6年度に狛江第一中学校でPTA会長を務めていました。下の子が高校生になり、狛江市との繋がりがなくなり寂しいなと思っていたタイミングで、前任地域コーディネーターの方にお声がけいただき、引き継ぐことになりました。今年が1年目となります。

地域コーディネーターになってみて

イングリッシュスピーカー交流会では、最初は緊張の面持ちだったのが、どんどん打ち解けて一生懸命英語を話そうとしている子どもたちの姿を見て感動しました。わが子だけでは味わえないたくさんの「子どもの成長を喜ぶ」「子どもの喜んでる顔を見られて嬉しい」という体験をできるのが、地域コーディネーターの醍醐味だと思います。また、自分が普段の生活・活動の中で築いてきた人脈を生かして、子どもたちの役に立てることも純粋に嬉しいです。



地域コーディネーターとしてやっていること

緑野小では毎年、6年生の英語授業の一環で「イングリッシュスピーカー交流会」を実施しています。地域コーディネーターは、その交流会に協力いただけるゲストティーチャーを探してくるのが役目で、今年も自分の人脈を生かして、狛江市内で英語を話せる外国の方を8名探しました。そのうち半数は、昨年もご協力くださった方たちで、とてもありがたかったです。学校だけでは実現できない部分を、地域の力を使って実現させる、そのお手伝いをするのが地域コーディネーターの仕事だと思っています。

地域コーディネーターの取組の一部をご紹介します



多摩川での自然体験



昔あそび



自分さがし



放課後学習教室

普段のお仕事

会員制 coworking space の運営業務や、自治会の運営伴走支援業務などを行う会社で働いています。多様な働き方ができる会社なので、自分らしく働いています。



趣味

コマエンジェルという狛江市を拠点に活動するダンスパフォーマンス集団に所属しています。毎週日曜日に練習があり、大人の部活動みたいでとても楽しいです。新しい曲の振り付けを覚えたり、メンバーと他愛のない雑談で大笑いしたり、リフレッシュできる時間です。来年20周年公演を行う予定です！

時間のやりくり

平日の日中に時間を作って小学校に出向くことも可能なワークスタイルなので、午前中に学校で打ち合わせをして、その足で次の仕事に向かうということもあります。地域コーディネーターの活動にそこまで時間は取られておらず、もちろん負担は0ではありませんが、それ以上のギフトをもらえるので、楽しく取り組むことができます。

地域のみなさんへ

先生も子どもたちもやるのがたくさんあって、なかなか「余白」を楽しむことが難しい昨今だなと感じています。学校だけではカバーしきれない「こんな機会が子どもたちにあつたらいいな」ということをぜひご提案ください。実現に向けて一緒に考えることができると嬉しいです。

地域コーディネーターの活動を通して、子どもたちの未来を切り拓く力になれば良いなと思っています。

狛江第二中学校 地域コーディネーター
まえだ まさひと
前田 正人さん



地域コーディネーターになったきっかけ

2011年の東日本大震災の際に、地域に友達や頼れる人がいないことを不安に感じるようになったことがきっかけとなり、地域活動に積極的に関わるようになりました。おやじの会、PTA会長、青少年委員など、徐々に地域活動の幅が広がっていき、他の学校の地域コーディネーターからお誘いをいただいて、地域コーディネーターになりました。

地域コーディネーターになってみて

二中での職業講話を無事に開催し終えた後は、地域コーディネーターとしての責任を果たすことができた喜びや充実感がすごいです。一中ゾーンから四中ゾーンまで、様々な特色があります。他のゾーンの活動を参考にしつつ、学校と一緒に考えながら、今後もう少し二中での取組の幅を広げていきたいと思っています。

地域コーディネーターとしてやっていること

二中では、1年生を対象に「職業講話」を毎年実施しており、講師をしてくださる様々な職業の方を地域から20~30人集めています。知り合いの方にまた知り合いを紹介してもらい…と数珠つなぎにどんどん人脈が広がっていく…コンパクトな狛江ならではの素晴らしいところを実感しています。講師をお願いすると、みなさん喜んでやりたいと言ってくださいます。二中ゾーンに限らず、狛江にはこのような方がたくさんいるんだなと実感しています。



昨年度の狛江第二中学校での「職業講話」の様子



普段のお仕事

印刷物の企画・デザインの仕事をしています。日々、締切に追われる職業ではありますが、比較的時間の融通がきく仕事でもありますので、様々なことに柔軟に対応できています。二中の職業講話では、講師として、自身の仕事内容をお話する機会もいただきました。

趣味

トライアスロンをやっています。年に数回大会に参加し、完走を目標にして週3・4日トレーニングをしています。子どもの小学校のお父さん友達に誘われて始めてから、10年位続けています。ゴールした後の充実感や他の経験では得がたい素晴らしいものですし、続けていることが自分自身の自信にも繋がっています。



時間のやりくり

時間の切り分けはあまりしておらず、仕事も地域コーディネーターの活動も、趣味も、自然と上手くバランスを取りながらできています。いろいろな委員や理事をやっていると、仕事中に連絡が来ることもありますが、あまり負担に感じることはなく、臨機応変に対応しています。慣れかもしれませんがね。

地域の子どもたちへ

みなさんが住む地域には、見守ってくれる大人の人、気にかけてくれる大人の方がたくさんいます。まずは、地域の行事やお祭りなどいろいろなイベントに参加して、安心して頼れるこの地域のことを知ってほしいなと思います。そして、学校生活を通じながらもよいので、地域の人たちをどんどん頼ってほしいなと思います。

地域コーディネーターの取組の一部をご紹介します



教育委員会からのお知らせ

「音楽の街—狛江」子どもたちが楽器を楽しめますように!



本寄附金を活用し、令和6年度は狛江第二中学校でフルートを購入することができました。

ご協力に心より感謝申し上げます。
新しいフルートは、吹奏楽部の練習や演奏に大いに役立っています。

こまえ応援寄附金（ふるさと納税）の使いみち項目に、小中学校の楽器整備への活用を設けています。

ぜひ、ご協力をお願いいたします。（※狛江市在住の方からの寄附に対しては、返礼品を送付することができませんので、ご了承ください。）



詳細は市のホームページをご覧ください



■教育委員会では、令和7年3月に第4期狛江市教育振興基本計画（狛江市教育大綱）を策定しました。

◇計画期間

令和7年度から令和11年度までの5か年

◇5つの基本方針

- ①子どもが自らの人生を切り拓いていく力の育成
- ②子どもに寄り添った誰一人取り残さない教育の推進
- ③家庭・地域・学校で子どもの学びを支える教育環境の整備
- ④生涯を通じた学びの充実とスポーツの推進
- ⑤歴史・文化への理解と継承

東京都市大学 夢キャンコミュニケーターの協力を得て、計画のダイジェスト版を作成しました!



計画の詳細はこちら



■教育委員会の会議（令和7年4月～令和7年8月）

主な議案

- ・狛江市地域学校協働活動推進事業実施要綱の一部を改正する要綱
- ・令和7年度狛江市民プールの使用時間等の変更について
- ・部活動の地域展開に関する基本方針（案）の策定について
- ・第4期狛江市教育振興基本計画（狛江市教育大綱）実行プラン（案）について
- ・魅力ある学校づくりの推進に関する論点整理の策定に向けて（案）について

主な報告事項

- ・旧狛江第四小学校跡地整備基本計画について
- ・令和6年度通学路合同点検に基づく対策実施結果について
- ・第4期狛江市教育振興基本計画（狛江市教育大綱）ダイジェスト版の作成について
- ・公民館居場所事業「夏休み子ども・中高生スペース」の事業概要について
- ・狛江市立中央図書館臨時窓口の臨時休館について

狛江市教育委員会

発行者

〒201-8585 狛江市和泉本町一丁目1番5号
TEL 03-3430-1111
<https://www.komae.ed.jp>

こちらからもガク★チキが閲覧できます!

狛江市教育委員会
ホームページ



こまえ電子図書館

